

Southern Cross

2022.5 Vol.70

 サザンクロス



●編集発行

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地
ビッグパレットふくしま3階
TEL.024-947-4400



Contents

ごあいさつ

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構
理事長 滝田康雄 1

郡山地域テクノポリス推進機構 紹介

●郡山地域テクノポリス推進機構
～ものづくり企業を応援します～
令和4年度の主な事業 2

新事業創出育成

●起業化支援
ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営 3
入居者紹介 4

●新製品開発から事業化までを支援
・各種助成事業 5
・日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)
郡山サテライトの開設 5

人材育成・研究開発促進

●産学官連携による人材育成
マイスターズ・カレッジ 6

●研究開発・事業化支援
令和3年度 産学官連携コーディネート業務 7

起業家育成・起業化支援

●企業連携の促進
郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 8
研究開発推進部会 ― 3フォーラムの開催 ― 9
須賀川方部アドホック研究会 11

●広域カンファレンス
知的財産ネットワーク連携推進業務 11

●ICTを活用した産業の振興
郡山オープンイノベーション(KOI)会議 11

●受発注機会の創出
ICTを活用した商談会 11

郡山地域ニューメディア・コミュニティ 事業推進協議会

●ICT交流事業 12
●情報化人材育成・研修事業 12
●ICT高度利用推進事業 13
●情報発信事業 13
●総会・運営委員会等 13
●令和4年度 年間スケジュール(案) 13

イベントへの出展

テクノインフォメーション

●令和3年度 理事会等の開催報告 14
●令和4年度の主な事業・イベント 14
●役員・職員等の紹介 15

ものづくり支援機関として

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

理事長 滝田 康雄



関係の皆様には、コロナ禍の中、大変なご苦勞をされておられることと案じておりますとともに、コロナ禍の一日も早い終息を願ってやみません。

東日本大震災及び東京電力原子力災害から11年が経過し、その間、新型コロナウイルス感染拡大や大震災の余震とみられる福島県沖大地震の発生など、自然災害による影響もあり、一昨年度に続き昨年度も思うような企業訪問ができませんでした。

当機構の設立原点は「ものづくり企業への支援を通じて福島県産業の振興を図る」ことであり、今年度におきましても自治体をはじめ、産業支援機関や産総研「福島再生可能エネルギー研究所」、「ふくしま医療機器開発支援センター」、さらには「福島県ハイテクプラザ」、県内各大学などとの連携を強化しながら、当機構の特徴や強みを活かした3つの支援を積極的に展開して参ります。

一つには、「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」を核とした起業支援です。

平成18年に日本大学工学部の敷地内に設置以来多くの企業に利用いただき、新製品開発や新分野進出に貢献して参りました。現在の入居企業は、医療機器、ロボット、ICT関連企業など11社に入居いただいております。

今後も、「ものづくり関連企業」に特化したインキュベーション施設として、大学等と連携し新製品の研究開発をする『場』、試作品づくりのための『設備』、経営・技術面からの『人材』支援、そして、研究開発の成果を広く発表する『機会』を提供し、企業支援を積極的に図って参ります。

二つには、技術コーディネーターによる支援です。

大手、中小製造業経験者による現場感覚の支援が企業訪問件数の増加につながり、受発注案件などの様々な相談増に加え、企業と大学等との連携、企業と企業の連携案件も具体的に進展するなど、大きな強みを発揮しております。今後も、関係機関と連携しマンパワーを活かした支援に力を注いで参ります。

三つには、産学金官連携による支援です。

連携の実を上げるには、そのとりまとめ役となる存在が必要です。

「新事業創出」や「人材育成・研究開発促進」、「起業化支援」などの業務推進にあたって、連携のとりまとめを率先して担うことで、様々な案件が着実に進展するよう引き続き努めて参ります。

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会につきましては、地域ICT進展のために、小中学生を対象としたロボット制作教室の開催、労働力不足解消や働き方改革に繋がるRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）への理解を深めるため、セミナー開催等を通じて企業への更なる普及に努めて参ります。その他、5G、DX（Digital Transformation）、AI、IoT等、新しい環境への対応を心掛け、時代を見据えた事業に取り組んで参ります。

基本財産の運用は、益々厳しさを増しておりますが、選択と集中による効率的組織運営は勿論のこと、関係機関の企業支援策も活用させていただき、ものづくり企業にとって無くてはならない機構であり続けるための仕事をして参りますので、関係各位のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

郡山地域
テクノポリス
推進機構

ものづくり企業を
応援します

こんな考えをお持ちの企業の皆様、是非当機構をご利用ください。

- 新分野に挑戦したい
- 人材の育成をしたい
- 技術相談をしたい
- 取引を拡げたい…など

当機構
沿革

1986年(昭和61年)3月に、国、福島県、テクノポリス圏域6市町村(郡山市、須賀川市、鏡石町、玉川村、石川町、三春町)、圏域企業の基金造成(約15億円)により設立。現在の基金は約11億円。

令和4年度の主な事業

① ものづくりインキュベーションセンター運営

新事業創出育成事業

重要事項

- (1) 研究開発の「場」・「設備」・「人材」による支援 …… P3
- (2) 各種助成制度 …… P5

※入居企業11社(令和4年4月1日)



② 人材育成・研究開発促進

技術振興事業

重要事項

- (1) 産学官連携による中核的人材の育成 …… P6
 - ① マイスターズ・カレッジ
 - 【講師】日本大学工学部 教授 他
- (2) 研究開発・事業化支援 …… P7
 - ① 技術コーディネーターによる企業訪問、技術相談、連携促進
 - ② 大学や産業支援機関等との連携



③ 起業家育成

地域技術起業化推進事業

重要事項

- (1) 企業連携(アライアンス)の促進 …… P8
 - 3フォーラムの運営
 - (コーディネーター:日本大学工学部教授)
 - ロボットテクノロジー
 - 健康医療福祉産業創生
 - サステナブル地域づくり
- (2) ICTを核とした産業の振興 …… P11
 - 郡山オープンイノベーション会議(KOI会議)
 - (郡山市、会津大学、当機構の三者連携協定)



広 報

- 機関誌「サザンクロス」(年1回)、テクノポリスだより(毎月発行)
- ウェブサイト、メールマガジン
- 各種展示会等への出展

テクノポリスだより▶



起業化支援

ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営



ものづくりインキュベーションセンター建物外観

当機構は、国、福島県、郡山市、日本大学工学部等の助成を受け、平成18年8月に「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部キャンパス内に建設し、その運営・管理と関係機関との連携を行っています。

当センターは、“ものづくり”による新たな産業の創出を促進するための支援施設で、起業支援室（11室）のほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた「試作センター」や40人収容可能な「会議室」を設置しています。

また、研究開発・事業化支援のための専門家を配置し、様々なサポートを提供するとともに、大学等の知的財産や産業支援ネットワークを活用し、技術シーズの事業化を支援しています。

支援メニュー



■ 起業支援室(実験室タイプ)



■ 起業支援室(事務室タイプ)



■ 試作センター



■ 成果品展示コーナー

概要

研究開発による新製品の創出、起業化、事業化の成功率を高めるため、試作品等を設計・製作する「場」、試作に必要な基本的な「設備」、及び技術の

ハード/ソフト両面で支援・コーディネートする「人材」、そして入居者による研究開発の成果を広く発表する「機会」を提供します。

場

研究開発の拠点として、低廉な料金で入居でき、24時間365日利用可能な起業支援室(実験室タイプ2室/事務室タイプ9室)、試作センターや会議室、展示コーナーを設置しています。

設備

「試作センター」には、試作品等の製作に必要な各種工作機械や高精度立体加工用マシンングセンタ等を備えています。また「会議室」には、映像や音響設備等を備えています。

人材

- インキュベーションマネージャーが入居者等へ研究開発や事業化支援を行うほか、専門家を紹介したり、大学などの知的財産や産業支援ネットワークを活用して、技術シーズの事業化を支援しています。
- 管理員や技術コーディネーターが当施設を管理し、研究開発/技術の起業化に関する支援事業へコーディネートしたり、各種研究会やセミナーを開催するほか、大学や研究機関等と連携して郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業間連携)形成を支援します。

機会

入居者等の研究開発事業の成果を訪問企業や各支援機関、金融機関、マスコミ等に広く周知して、起業化・事業化を支援するための「成果発表会の開催」や「展示コーナー」に成果品展示などの機会を提供します。

展示コーナーのご案内

当施設1階にある「展示コーナー」に、入居企業・卒業企業の研究成果品を展示しておりますので、ぜひご覧ください。

- ① アルミASTコイル搭載モータ (ASTモータ) …………… (株)アスター
- ② バスケットワイヤーカテーテル …………… (株)アイアールメディカル工房
- ③ 中小河川向けクラウド水位計・カメラ …………… (株)エムケー技研
- ④ 薄型多機能カード位置測位システム …………… (株)ソーシャルエリアネットワークス
- ⑤ う米めん UMAIMEN …………… アルファ電子(株)
- ⑥ 動物福祉型実験機材(採決投与針・新型保定器) …………… (株)ハンドレット
- ⑦ 卵子凍結保存容器 …………… (株)ナガヨシ
- ⑧ 弾性ロボットD-haT(ディーハット) …………… (株)国際情報ネット
- ⑨ アルミニウム燃料電池(一次電池) …………… (株)プロトンシステム(卒業企業)
- ⑩ 生キャラメル(6種類のフレーバー生キャラメル) …………… (株)向山製作所(卒業企業)



入居者紹介(令和4年4月現在)

起業支援室 No.1 株式会社 アスター

代表取締役 本郷 武延

業種等 輸送機械関連産業 研究開発型企業として、豊かな
本社所在地 秋田県 横手市 自然に恵まれた秋田から世界
入居日 平成29年4月1日 初を造り続け、世界中に届ける
主な研究開発テーマ ことを目指しています。
アルミニウム製のモーターコイル(ASTコイル)を用いた超軽量で
革新的な高効率・高性能モーターの開発

起業支援室 No.2 株式会社 アイアールメディカル工房

代表取締役 河邊 大輔

業種等 医療機器製造販売業 脳血管治療に特化した特殊な
本社所在地 郡山市 医療機器(ステント)の開発を
入居日 平成30年3月1日 進めております。
主な研究開発テーマ
血管内治療用カテーテルの研究開発

起業支援室 No.3 株式会社 エムケー技研

代表取締役 諸根 理仁

業種等 ソフトウェア開発業、 ソフトウェアの受託開発、監視
製造業 カメラシステム、IoT機器・ロ
本社所在地 田村市 ボットの研究開発と販売を行っ
入居日 平成31年4月1日 ております。
主な研究開発テーマ
ロボット関連分野の研究開発

起業支援室 No.4 株式会社 Social Area Networks

代表取締役 森田 高明

業種等 製造業、情報通信業 LPWA無線ネットワークシステムを構
本社所在地 東京都 中央区 築するための機器・ソフトウェアの研
入居日 平成30年3月1日 究、開発、販売をしている会社です。
主な研究開発テーマ
コミュニケーションで繋がるFioT(Feeling Internet of Thing)研究開発、
LPWAをベースとした機器の研究開発。カードタイプのIoTデバイスの開発(Jcard)

起業支援室 No.5 株式会社 グローバル技研

代表取締役 林 英一

業種等 環境機器の研究開発・ 世界的なCO₂削減問題に特化
製造販売・建設土木 した事業展開で、高品質な技術
本社所在地 郡山市 とサービスの提供を心掛けて
入居日 令和3年5月24日 いきます。福島から地球環境を
主な研究開発テーマ 変えていきます。
有機物熱分解装置の研究開発

起業支援室 No.6 アルファ電子 株式会社

代表取締役 樽川 久夫

業種等 電気機械器具製造業 医療機器、ヘルスケア関連の
本社所在地 岩瀬郡 天栄村 開発及び新事業として米粉を
入居日 令和2年6月20日 使った加工品等、食品関連事
主な研究開発テーマ 業の研究開発を行い、新たな
米粉100%のグルテンフリー麵の 市場の開拓に挑戦します。
研究開発

起業支援室 No.7 株式会社 ハンドレッド

代表取締役 栢本 直行

業種等 実験用・研究用器材の 自然と動物、医療福祉、
開発・製造 食を事業の柱とし、より
本社所在地 郡山市 良い社会につながる製
入居日 令和2年12月1日 品、サービスを開発して
主な研究開発テーマ います。
実験動物用福祉
配慮型器具の開発・製造

起業支援室 No.8 株式会社 ナガヨシ

代表取締役 金子 弘行

業種等 射出成形用金型製作 プラスチック製品を製作
及び するプロフェッショナル
射出成形・印刷・組み立て です。キャラクター製品
本社所在地 石川郡 石川町 からコネクター・精密医
入居日 令和4年3月1日 療部品までOK。
主な研究開発テーマ
受精卵凍結保存容器の研究開発、
新プラ素材(ライスレジン)を用いた製品開発

起業支援室 No.9 株式会社 国際情報ネット

代表取締役社長 尾形 廣秋

業種等 ソフトウェア開発業務、 「子ども向けコミュニ
イントラ整備、 ケーションロボット」の開
インフラ構築 発を通じて、ソフトウェア
本社所在地 千葉県 柏市 開発やシステム構築を
入居日 平成29年10月1日 行う拠点を郡山地域に
主な研究開発テーマ 作ることを目指します。
超高齢化社会に向けた
介護支援ロボット開発

起業支援室 No.10 リンクエフ

田村 慎太郎

業種等 地中熱利用 浅層地中熱利用事業組合員として最
システム事業 適な地中熱利用システムの提案から
本社所在地 郡山市 設計まで行います。また地中熱利用
入居日 令和4年2月1日 システムの普及に取り組みます。
主な研究開発テーマ
浅層地中熱利用システムの研究開発
地中熱利用システムのシステム設計業務、設備製造及び販売

起業支援室 No.11 株式会社 benefic

代表取締役 小林 聖

業種等 情報処理業 アプリケーションやWebページ
本社所在地 山形県 山形市 の品質保証「第三者検証」サー
入居日 令和1年6月1日 ビスを提供するほか、きゅうり
主な研究開発テーマ のスマート農業について共同研
アプリやWebのチェックを行う 究をしています。
「第三者検証」の研究開発
胡瓜栽培の作業改善と6次化商品の開発

新製品開発から事業化までを支援

各種助成事業

テクノポリス圏域内企業やグループ等の研究開発や起業化の取り組みを支援するため、各種助成事業を設けています。

※ 予算の範囲内での助成となりますので、詳しくはお問い合わせください。

1 F/S支援事業

研究開発や新事業創出等の成功率を上げるために、開発に着手する前段のフィージビリティスタディ(実現可能性・起業化可能性の

調査検討=F/S)を行う場合に経費の一部(助成対象経費の2/3以内で100万円を限度)を助成します。

2 研究開発助成事業

新技術または新製品の開発、生産工程の合理化または製品の付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発を行う企業、共同研究グループに対して、研究開発に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内

で200万円を限度)を助成します。

ただし、再生可能エネルギー、医療福祉機器及びロボットに関する技術高度化に要する研究については300万円を限度とします。

3 地域技術起業化助成事業

技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するため、その事業に向けて必要な商品開発、情報収集、市場開拓等の事業を行う

企業や共同研究グループに対して起業化に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で300万円を限度)を助成します。



令和3年度 助成決定企業

地域技術起業化助成事業

アルファ電子(株)

地域資源と地域技術を使った
米粉麺の販路及びWeb展開の拡大

【事業概要】

本事業では地元ブランド米を利用し、地域資源の活用と付加価値の創造(ハイグレード商品の開発)、Webマーケティングによる販路拡大及び認知度向上の施策を実施し、適切かつ効果的な販路の獲得を目指しています。



グルテンフリーで「もちもち食感」が特徴です

F/S支援事業

(株)benefic

きゅうり加工品の可能性探索と
高度6次化商品の試作について

【事業概要】

県の特産品である「きゅうり」について、市場調査や機能性成分の調査を行い、6次化製品の可能性を探りました。

結果、美容品や加工品分野における新規商品の可能性を見出し、商品化に向けた事業を進めています。



きゅうりの未知なる可能性を探りました

新製品開発から事業化までを支援

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC) 郡山サテライトの開設

当機構と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産官学連携活動を活性化し、日本大学と企業間の共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・振興に寄与するため、「ものづくりインキュベーションセンター」内に『NUBIC郡山サテライト』を平成19年7月から開設し、地域企業の皆様の技術開発等に係る相談に応じています。

開設日時: 毎月第4水曜日 午前10時から午後4時まで。事前申込みが必要です。

開設場所 及び申込み先: 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

電話: 024-926-0344

E-mail: monodukuri@nm.net6.or.jp

※「出前セミナー in企業」を希望される企業については、開催日時等について調整が必要となりますので、事前にご相談ください。

NUBIC郡山サテライトは、郡山地域をはじめ、県内の中小企業や個人の方が対象です。

令和4年も開催予定 ▶ 相談無料

▶ 主な相談内容

- 日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋
- 知的財産制度、その運用等に関する情報提供
- 研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介
- その他、知的財産・産学連携活動の推進及び地域産業の活性化に資すること

産学官連携による人材育成

マイスターズ・カレッジ



武藤教授の基調講演

ものづくり中小企業を対象とした人材育成事業として、日本大学工学部の大学等高等教育機関、産業支援機関等の産学連携により、平成18年度から「マイスターズ・カレッジ」を実施しています。

8月24日に2コース合同で開講式を行い、当機構の福内常務理事が「多様な知識・技術の習得により皆さん一人ひとりのスキルアップが図られるよう期待しています」と挨拶を行い、根本日本大学工学部長が祝辞を述べました。

また、開講式後、日本大学工学部機械工学科教授の武藤伸洋氏から「アフターコロナ時代のロボット技術」をテーマに基調講演を行いました。

製造業DX基礎コース

FA・IoT技術を学び、将来のSIer候補者となる実務者を育てる講座

講座名	日程	講師
オリエンテーション	8/24(水)	—
開講式・基調講演		日本大学工学部 武藤伸洋氏
受講者自己紹介(自己診断)		—
現状の問題・課題の見える化		ポリテクセンター福島 藤村伸治氏
1 ロボコム・アンド・エフエイコム(株)南相馬工場 視察	8/31(水)	ロボコム・アンド・エフエイコム(株) 金谷 智昭氏
2 「構想設計の重要性」や「全体最適化されたスマートファクトリーの構築手順」		
3 IoTと機械学習	9/8(水)	日本大学工学部 教授 武藤伸洋氏
4 製造業のためのシステム制御工学	9/15(水)	日本大学工学部 助教 今林 亘氏
5 画像処理の基礎	9/22(水)	日本サポート システム(株)
6 DXトライアングルと実例	9/29(水)	(株)FAプロダクツ
7 生産シミュレーションを活用したDXソリューション		
8 安全衛生特別教育・産業用ロボットの教示等(学科)		
9 安全衛生特別教育・産業用ロボットの教示等(実技)		
10 (株)デンソー福島工場見学、ディスカッション、修了証書授与	10/19(水)	(株)デンソー福島

製造業マネージャー育成コース

品質管理、原価管理等の基礎を学び、時代を担う技術者を育てる講座

講座名	日程	講師
オリエンテーション	8/24(水)	—
開講式・基調講演		日本大学工学部 武藤伸洋氏
受講者自己紹介(自己診断)		—
現状の問題・課題の見える化		ポリテクセンター福島 藤村伸治氏
1 ものづくりの仕事の仕組みと生産管理ものづくりの意識と行動	8/27(金)	ポリテクセンター福島 藤村伸治氏
2 ロボコム・アンド・エフエイコム(株)南相馬工場視察	8/31(水)	ロボコム・アンド・エフエイコム(株)
3 「構想設計の重要性」や「全体最適化されたスマートファクトリーの構築手順」		
4 成果を上げる業務改善(1)	9/7(水)	(一社)キャリア 支援機構 横山雄二氏
5 成果を上げる業務改善(2)	9/14(水)	
6 製品原価と費用構造(1)	9/21(水)	
7 製品原価と費用構造(2)	10/12(水)	(株)デンソー福島
8 (株)デンソー福島工場見学、ディスカッション	10/19(水)	
9 品質管理実践(1)	10/26(水)	(一社)キャリア 支援機構 横山雄二氏
10 品質管理実践(2) 修了証書授与	11/2(水)	



フラフープを使用した実習



講座風景



産業用ロボットの実技

研究開発・事業化支援

令和3年度 産学金官連携コーディネート業務

『産学金官連携による新事業・新産業創出を推進することを
目指して、企業訪問による新たな連携可能な起業の発掘、情報
収集を継続的に実施する』ことを目的に、郡山市より委託業務を
受託しました。

発注者:郡山市
件名:令和3年度 産学金官連携コーディネート業務
受託期間:令和3年5月8日～令和4年3月25日
実績概要:下記の通り

企業訪問

① 市内企業への訪問 ▶ のべ176件

令和3年度は、主に金属製品製造業、情報サービス・技術サービス業、生産用機械器具製造業の業種の企業を中心に訪問しました。

② 郡山市産業振興事業への参画推進

●KORIYAMA TECH MEET-UP 〈第1回〉

大手企業の開放特許や
ベンチャー企業のシーズとの
マッチング等

実施日:令和3年8月6日(金) 14:00～16:30

実施方法:オンライン開催【Zoom】

登壇企業:5社/参加企業18社(34名)

〈第2回〉

実施日:令和3年12月22日(水) 14:00～16:30

実施場所:郡山市立中央公民館

登壇企業:3社/参加企業18社(28名)



KORIYAMA TECH MEET-UP



KORIYAMA TECH MEET-UP

●KORIYAMA Tech Boot Camp 〈第1回〉

自社の技術や強みを活かして、
デザイン思考の新たな製品の
開発

開催期間:令和3年6月～令和4年1月

参加企業:5社

各種支援機関が一体となった企業支援

合同企業訪問件数 ▶ 54件(令和4年3月25日現在)

郡山市や福島県発明協会をはじめ、各種産業支援機関が合同で企業訪問することで、企業からの相談や課題提案に対し、スピーディな対応やさらなる連携へつなげることができました。

学術研究機関と市内企業とのマッチング

① 研究・産業支援機関等への訪問 ▶ 22回(令和4年3月25日現在)

大学等高等教育機関や研究機関、医療機関等への学術、研究機関へ訪問し、ニーズ等の把握を行うとともに企業等との

マッチングを支援しました。当マッチングによる、研究の更なる加速や製品づくりのヒントへとつなげることができました。

② 産学金官による事業化支援

グルテンフリー麺(う米めん)のレシピ開発等

- アルファ電子株式会社
- 郡山女子大学
- 日本大学
- 福島県発明協会
- 郡山市産業創出課



う米めんのレシピ

市内企業の情報や

企業の製品等を掲載した小冊子の作成

- アルファ電子株式会社及び株式会社Social Area Networksの小冊子を作成した

産業DX推進事業「中小企業DX加速化事業」業務

(受託期間)令和3年7月28日 から 令和4年3月25日 まで

●業務概要

郡山市内中小製造業のデジタル化を促進し、業務効率化・コスト削減等により企業の競争力向上につなげるとともに、価値創造型企業の創出を支援する。

●業務実績

デジタル技術の導入に意欲のある中小製造業5社に対して、導入や活用に係る専門的な知識と経験を有するアドバイザー等を派遣

企業連携の促進

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議



役員会

戦略的アライアンス形成会議は、郡山テクノポリス地域などの中小製造業者が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織(アライアンス)を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、地域産業の活性化を図ることを目的としています。

令和4年3月31日現在、52社が参画しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、研究開発推進部会(フォーラム)を開催し、総会については書面で行いました。

事業体系

令和3年度



特別講演会

研究開発推進部会

● ロボットテクノロジーフォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏

ボードメンバー企業: 東成イービー東北(株) / (株)日東紡テクノ

林精器製造(株) / 福島コンピューターシステム(株)

● 健康医療福祉産業創生フォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部機械工学科 教授 片岡 則之 氏

ボードメンバー企業: (株)ニチオン / アルファ電子(株) / 日本全薬工業(株)

(株)エヌジェイアイ / (株)アサカ精機 / (有)エスク

● サステナブル地域づくりフォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部土木工学科 教授 中野 和典 氏

ボードメンバー企業: (株)ユアテック 須賀川営業所 / (株)あおい / (株)アーバン設計

陸奥テックコンサルタント(株) / (株)アルサ / (株)北斗型枠製作所

受発注推進部会

● 企業製品・研究成果等 発表会(プレゼン会)

研究開発プロジェクト

事業方針

会員企業相互の強みを生かしたアライアンス(連携、協調)を強化することにより、新たに付加価値の創出を図るなど、技術力の向上と産業振興を目指します。

会員企業の技術連携を図り、高度技術や複合技術を必要とする難度の高い特注品・試作品・完成品等を含む受注の確保を目指します。

会員企業の情報交換により、新製品・新商品の開発、ソフトウェアの開発、販売戦略などの成果実現を目指し、新事業の創出と活性化を図ります。

会員企業のアライアンス活動を通して、地域にアライアンス形成会議の知名度アップを図ります。

※当形成会議への入会は随時受け付けています。
詳しくは、テクノポリス推進機構事務局までお問い合わせください。

令和3年度 役員

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

役員	氏名	企業名	会員役職
最高顧問	高木 茂保	エスケー電子工業(株)	取締役相談役
会長	大槻 努	作田電機(株)	代表取締役社長
副会長	水上 哲夫	(有)ぱすわーど	代表取締役
委員	高橋 晃一	(株)アーバン設計	代表取締役
委員	遠藤 正成	(株)北斗型枠製作所	代表取締役
委員	長谷川 潔	陸奥テックコンサルタント(株)	専務取締役
委員	高畠 伸幸	(有)エスク	代表取締役
委員	神田 雅彦	神田産業(株)	代表取締役
委員	吉田 尚正	(株)吉城光科学	代表取締役社長
委員	森尾 和衛	日本全薬工業(株)	専務取締役
委員	益子 邦雄	林精器製造(株)	業務執行取締役
監査	樽川 久夫	アルファ電子(株)	代表取締役
監査	石橋 克郎	石橋ハマプラス(株)	代表取締役

令和4年3月31日現在(順不同・敬称略)

会議・交流会等の開催

① 役員会

- 開催日：●令和3年5月13日(木)
●令和3年11月26日(金)
●令和4年2月8日(火)
- 会場：ものづくりインキュベーションセンター
- 参加者：当形成会議役員
- 内容：●令和3年度 事業計画(案)及び予算(案)について
●令和3年度 役員(案)について
●特別講演会について
●令和4年度 事業計画について ほか

② 総会・交流会

- 開催日：令和3年6月4日(金) 会場：書面決議
- 参加者：45名(決議書提出件数)
- 内容：●令和2年度 事業報告及び収支決算報告について
●令和3年度 事業計画(案)及び予算(案)について

③ 特別講演会

毎年、当形成会議を広く知ってもらうため、会員以外も聴講できる講演会を開催していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催延期となりました。

研究開発推進部会

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議では、産学官連携による研究開発体制の構築を目的に各種研究会活動を支援するとともに、大学等との連携により、技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、シーズとニーズのマッチングによる具体的な産学共同研究開発案件の掘り起こしなど

を行っています。

分野別に「サステナブル地域づくりフォーラム」・「健康医療福祉産業創生フォーラム」・「ロボットテクノロジーフォーラム」の3つの研究会が活動しています。

以下、これら研究会の活動状況を紹介します。



令和3年度 健康医療福祉産業創生フォーラム

健康医療福祉産業創生フォーラムでは、医療機器産業の最前線で活躍されている医療従事者、研究者、医療機器メーカー、ものづくり企業を講師にお招きし、医療機器産業の基礎的な知識から最近の動向、医療現場のニーズ、医療

機器開発のポイント、市場へのアプローチの方法等について学ぶ機会を提供することで、医療機器産業への参入支援、医療従事者等とのネットワークの構築、圏域内での医療機器産業の活性化を目指し活動を行っております。

第9回 健康医療福祉産業創生フォーラム

健康・医療・福祉介護分野をテーマに、「新しい医療関連産業の創出・研究開発の推進」を目指し、日本大学工学部

片岡則之 教授をコーディネーターにお迎えし、各種活動を行っております。

フォーラムテーマ

医工連携

ものづくり企業による医療機器分野への参入について

開催日：令和3年11月5日(金)

定員：20名(先着順)

場所：会場及びWebセミナー

(Zoomによるオンライン配信)のハイブリッド開催



第一部 特別講演

【医工連携分野から見た医療機器産業の現状と

最新の動向について】

講師：一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ
理事長 谷下一夫 氏

医療機器分野への参入を目指すものづくり企業向けに、医工連携の現状や医療現場で求められる医療機器、医療用消耗品等に関する医療現場のニーズ等について、他県の事例等も交えてご講演をお願いいたしました。

第二部 パネルディスカッション

パネリスト：

総合南東北病院 臨床工学科 技士長 安藤啓子 氏
ふくしま医療機器開発支援センター センター長 小林利彰 氏

医工連携 ものづくり企業による医療機器分野への参入における事例や課題等。

医療現場で使用する機材や消耗品について。医療福祉機器産業協議会の活動、今年のメディクリのPR(Web型)等。よくある質問や失敗・成功事例の紹介等。



サステナブル地域づくりフォーラム

地域住民の暮らしを支える社会インフラは、高度経済成長期に集中整備された道路や橋、上下水道施設、学校や庁舎等の老朽化が深刻化しています。また、中山間地では限界集落や災害時の孤立といった問題が顕在化するこ

とが予想されます。このような背景のもと、このフォーラムでは産学官が密接に連携しながら、地域住民とともに地域の強みや再生可能エネルギーを生かした持続可能で、自立した地域づくりを進めることを目的としています。



第8回 サステナブル地域づくりフォーラム

開催日: 令和3年11月8日(月) 14:00~

場 所: 日本大学工学部次世代工学技術研究センター
(Zoomと併用)

参 加: 35名

テーマ: 健康で持続可能な地域づくり

本学部の復興知イノベの これまでとこれから

講 師: 日本大学工学部建築学科
教授 浦部智義 氏



グリーンインフラによる 復興支援の試みと課題

講 師: 日本大学工学部土木工学科
教授 中野和典 氏



野生鳥獣との共生のための 情報基盤構築

講 師: 日本大学工学部情報工学科
准教授 中村和樹 氏



簡易路面点検手法の 開発と実装

講 師: 日本大学工学部土木工学科
助教 前島 拓 氏



ロボットテクノロジーフォーラム

日本のものづくりが今後も成長を続け、安定的に付加価値を生み続けるため、企業が抱える、「生産性の向上」、「人材不足」などの一助となるようロボットの今後の活用について幅広く考える場を提供し、事業機会を創出することを目的としています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止となりました。

企業連携の促進

須賀川方部アドホック研究会

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。

会員は郡山地域テクノポリス圏域内(郡山市、須賀川市、三春町、鏡石町、玉川村、石川町)などの企業経営者・役員です。



定期総会



ふくしま逢瀬ワイナリー視察研修



ラズベリーパイの組立て演習



東北電力 危険感受性体験

▶須賀川方部アドホック研究会 令和3年度 事業内容

会員数 27名(令和4年3月末現在)

会長 神田雅彦(神田産業(株) 代表取締役)

- 4月 定期総会
- 6月 ラズベリーパイの組立て演習
- 7月 ふくしま逢瀬ワイナリー視察研修
- 9月 (株)日向精工 新工場の視察研修
- 10月 東北電力の配電施設見学及び危険感受性体験
- 11月 今後の事業計画についての意見交換会
- 12月 過去の海外視察研修の振り返り
- 2月 須賀川市企業間ネットワークセミナー(Web開催)へ参加
- 3月 令和4年度 事業計画の意見交換会

広域カンファレンス

知的財産ネットワーク連携推進業務(川崎市産業振興財団業務委託)

川崎市産業振興財団から知的財産ネットワーク連携推進業務委託事業を受託した。

業務概要: 知的財産マッチングを通じて構築した自治体間ネットワークを活用し、川崎市内中小企業との新たな事業創出、販路開拓を支援。

受託期間: 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日まで

業務実績: テーマ別の広域オンライン企業交流カンファレンスの開催

第1回

金型・基盤技術関連分野

日時: 6月29日(火)
14:00~16:00

登壇企業:
株式会社KMC 様
(神奈川県川崎市)
株式会社ケイ・エス・エム 様
(福島県郡山市)
一般社団法人ものづくり
ネットワーク沖縄 様
(沖縄県うるま市)

第2回

医療福祉機器関連分野

日時: 7月20日(火)
14:00~16:00

登壇企業:
GOKO映像機器株式会社 様
(神奈川県川崎市)
株式会社吉城光科学 様
(福島県須賀川市)
阪神化成工業株式会社 様
(沖縄県うるま市)

第3回

バイオ・ライフサイエンス分野

日時: 9月28日(火)
14:00~16:00

登壇企業:
協同インターナショナル株式会社 様
(神奈川県川崎市)
株式会社ハンドレッド 様
(福島県郡山市)
リムコ株式会社 様
(沖縄県うるま市)

第4回

環境・エネルギー分野

日時: 11月16日(火)
14:00~16:00

登壇企業:
スペースリンク株式会社 様
(神奈川県川崎市)
株式会社アスター 様
(福島県郡山市)
バイオアルケミー株式会社 様
(沖縄県恩納村)

ICTを活用した産業の振興

郡山オープンイノベーション会議(KOI会議)

郡山市、会津大学、当機構の三者による包括連携協定の締結を受け、企業や地域が持つ課題の解決に向け意見交換を実施。

日時: 令和4年1月25日(火) 13:15~15:30
場所: 会津大学
参加者: 8名
内容: 会津大学企画連携課との意見交換



KOI会議

受発注機会の創出

ICTを活用した商談会(Linkers / J-GoodTech)

リンカーズ株式会社と締結した覚書に基づき、Linkers(リンカーズ)を通じた大手発注企業からの技術探索依頼に対して、当機構コーディネーターの目利きにより、内容に応じて圏域企業に情報提供し、新規取引先の成立を支援している。

併せて、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営するJ-GoodTech(ジェグテック)に令和2年3月から支援機関会員登録を行い、上記同様に圏域内企業に情報提供を行うこととしている。

発注案件に係る
紹介企業数 **4件**

令和3年4月1日
~令和4年3月31日

産学官連携による人材育成

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

テクノポリス圏域におけるICT化を支援し、高度情報化の推進を図るため、圏域市町村、各種団体、大学や専門学校等と連携し、令和3年度は以下の事業を行った。

新型コロナウイルス感染拡大により、Web(オンライン)での開催が増えた。

ICT交流事業

セーフコミュニティフェスタ“こおりやま”2022作品発表

出展

ハッカソン2021入賞3作品

●イートオール ●ゴミ捨て場見守るくん ●VRリズムゲーム型フィットネスアプリ

上記デジタル開催におけるハッカソン3作品をウェブサイト内で紹介。

https://www.city.koriyama.lg.jp/bosai_bohan_safecommunity/safecommunity/1/21816.html

展示コーナー①

期間：令和4年2月7日(月)～2月14日(月)

会場：イトーヨーカドー郡山店 4階展示コーナー

展示コーナー②

期間：令和4年2月21日(月)～2月27日(日)

会場：日和田ショッピングモール フェスタ店2階

情報化人材育成・研修事業

デジタル技術を活用し、高い付加価値を創造できる高度な人材の育成や、ICT活用による地域の課題解決、ICTリテラシーの向上、情報セキュリティの啓蒙に資する事業を行った。

産学連携IT人材育成事業 ※ テクノポリス推進機構「技術振興事業」、日本大学工学部との共同主催。

第21回 産学官連携フォーラム「アフターコロナに向けたIT技術」……ハイブリッド(Webセミナー)形式により開催

日時：令和3年12月6日(月) 14:00～16:20

会場：日本大学工学部50周年記念館(ハットNE)3階 大講堂(メイン会場)とWebによるウェビナー方式を採用。

報告会

産業の代表「アフターコロナにおける地域戦略」

一般財団法人情報産業協会 代表理事 鷲 宏樹 氏

学術の代表「DXを支える情報基盤」

日本大学工学部情報工学科 教授 林 隆史 氏

官の代表「福島県におけるデジタル変革の推進について」

福島県 企画調整部デジタル変革課 課長 渡辺 春吉 氏

パネルディスカッション

コーディネーター：日本大学工学部研究委員会

中野 和典 氏

コメンテーター：前述の登壇者

情報化人材育成事業

Connect 2021 in Koriyama, with UDC(ハッカソン) [Web]

日時：令和3年11月27日(土)～28日(日)

会場：郡山市民交流プラザ大会議室

参加者：30名/6チーム

入賞チーム名 および アプリケーション名



郡山市長賞

株式会社エフコム (TeamRollingStocks)

アプリ名 EAT A!!

家庭にある食材を可視化することで無駄なく使い切り、家庭から出る食品ロスゼロを提案!

マイクロソフト賞

株式会社福島情報処理センター (FIC)

アプリ名 粗大ゴミ判別チャットボット

画像を解析して、粗大ゴミを判別してくれるチャットボット。

郡山高度情報化システム研究会賞

国際情報工科大学(チーム吉田)

アプリ名 守ルート

学生を対象に通学路や地域周辺の事故が多い場所、治安が悪い場所を表示通知。

福島県情報産業協会賞

国際情報工科大学(SUDO PIP)

アプリ名 ゴミ捨て場守るくん ver0.5

ゴミ捨て場周辺の問題を解決するIoTシステム、AIによる物体識別IoT端末での機能実装

Connect 2021 (ニューコメ)賞

テクノアカデミー郡山(すがけん2021)*

アプリ名 楽都ビート

VRを用いた運動不足解消リズムゲーム。

奨励賞

国際情報工科大学(キュビット)

アプリ名 カルパ円ガチャ

今日乗るアトラクションを自動的に表示する。

*なおConnect2021賞を受賞したテクノアカデミー(すがけん2021)は、全国大会で銅賞を受賞した。

ロボット制作教室(福島大学 高橋研究室 協力)

郡山会場

日時：令和3年10月24日(日) 9:30～17:00

会場：大槻公民館

参加者：12名(小学生9名・中学生3名)

須賀川会場

募集後、新型コロナウイルスまん延防止措置により中止

ICT高度利用推進事業

産業界を中心に、高等教育機関や自治体等と連携し、圏域におけるICTの高度利用促進を図る各種事業を行った。

DXセミナーの開催【Web】

中小企業様向けに、少ない費用で簡単にすぐにつかえるサービスを紹介し、社内の業務改善やコスト削減への活用を目的とする。

第1回 DXセミナー

日時：令和3年7月21日(水) 14:00～16:00

内容：社内コミュニケーションサービスChatworkと業務処理クラウド管理「キントーン」の紹介

講師：株式会社Chatwork 様／株式会社cybozu 様

第2回 DXセミナー

日時：令和3年11月17日(水) 14:00～16:00

内容：「Web会議システム比較とテレワーク導入事情」

講師：福島コンピューターシステム株式会社 様

第3回 DXセミナー

日時：12月15日(水) 14:00～16:00

内容：「自治体や企業にとって、DXはなぜ必要なのか？」

講師：西会津町最高デジタル責任者 藤井 靖史 氏

RPA(ロボティク・プロセス・オートメーション)セミナー【Web】

日時：令和3年10月27日(水) 14:00～16:00

会場：Zoomを使用したWebセミナー

参加者：22名

マイクロソフトセミナー

内容：ハッカソン参加者向けに、
マイクロソフト社の取組みを紹介

日時：令和3年11月27日(土) 13:00～15:00

会場：郡山市民交流プラザ大会議室

参加者：35名(ハッカソン参加者及び関係者)

演題：～街づくりのためのデジタル技術

IoT-Data-AI その先に考えたいこと～

講師：マイクロソフト(株) デジタルトランスフォーメーション事業本部

畠山 大有 氏

情報発信事業 ①メールマガジン▶配信者数:614/配信回数:18回 ②Facebookページ▶読者(いいね!)数:294名

ホームページの運営・更新、メールマガジンの配信、SNSなどを通じて、当協議会やテクノポリス推進機構の主催するセミナー

や、各種補助事業、ICTに関するシーズ・ニーズの情報発信、最新情報・技術情報の紹介など、積極的な情報収集・提供に努めた。

総会・運営委員会等

監査

日時：令和3年4月14日(水) 11:00～

会場：(公財)郡山地域テクノポリス推進機構「会議室」

内容：令和2年度 事業報告・一般会計決算書の監査

協議会総会

日時：令和3年5月14日(金) 13:30～

会場：郡山ビューホテルアネックス 出席者：13名

会場：令和2年度 事業報告・収支決算書、令和3年度事業計画(案)・収支予算(案)の件、令和3年度 委員・役員、ボードメンバー委員補充選任の件

ボードメンバー会議

①第1回 ボードメンバー会議【Web】

日時：令和3年6月16日(水) 14:30～

会場：ウェブによる開催【Zoom】

出席者：16名(うちオブザーバー2名、事務局3名)

内容：総会報告、ボードメンバー委員補充選任の件、令和3年度年間スケジュールについて

②第2回 ボードメンバー会議【Web】

日時：令和3年10月20日(水) 14:30～

会場：ウェブによる開催【Zoom】

出席者：11名(うちオブザーバー2名、事務局3名)

内容：RPAセミナー、DXセミナー、Connect2020「ハッカソン」(案)について

③第3回 ボードメンバー会議【Web】

日時：令和3年2月16日(水) 14:30～

会場：ウェブによる開催【Zoom】

出席者：14名(うちオブザーバー2名、事務局4名)

内容：「セーフコミュニティフェスタおこりやま、

Connect2021「ハッカソン」並びに令和4年度事業計画(案)について

令和4年度 年間スケジュール(案)

- 4月 _____
- 令和3年度 決算監査…………… 4/13(水)
- 5月 _____
- 令和4年度 総会
…………… 5/12(木)(郡山商工会議所会館6F)
- 6月 _____
- 第1回 ボードメンバー会議 …………… 6/15(水)
- 7月 _____
- デジタルセミナー①
(情報セキュリティ/サーバー管理等) …………… 7/20(水)
- 8月 _____
- ロボット制作教室 …………… (須賀川市内)
- 9月 _____
- デジタルセミナー②
(改正電子帳簿保存法に備えよう) …………… 9月中旬
- 10月 _____
- 産業博、REIF等 展示会への出展
- 第2回 ボードメンバー会議 …………… 10/19(水)
- 11月 _____
- デジタルセミナー③
(自治体編×藤井先生) …………… 11月上旬
- Connect2022 ハッカソン …………… 11/19(土)～20(日)
- 会場：青少年会館(宿泊) / ビッグアイ(日帰り)
- 12月 _____
- デジタルセミナー④
(仮：ペーパーレスから始めよう) …………… 12月中旬
- 1月 _____
- 企業のデジタル化推進ワークショップ
(仮：圏域内企業の事例紹介等)
- 2月 _____
- セーフコミュニティフェスタ2022作品展示 …… 2/4(土)
- 第3回 ボードメンバー会議 …………… 2/15(水)

(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構

令和3年度 理事会等の開催報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

理事会

第1回 日時: 令和3年6月10日(休)
 場所: インキュベーションセンター
 内容: 令和2年度 事業報告及び決算 ほか

第2回 日時: 令和3年7月14日(水)
 場所: 決議の省略の方法による開催(書面)
 内容: 評議員会招集(役員補充選任)

第3回 日時: 令和4年3月24日(木)
 場所: 郡山商工会議所会館
 内容: 令和3年度 業務執行状況及び補正予算
 令和4年度 事業計画及び当初予算
 評議員会招集(役員補充選任)

監査会

日時: 令和3年5月24日(月)
 場所: ビッグパレットふくしま
 内容: 令和2年度 事業及び決算

評議員会

第1回 日時: 令和3年5月10日(月)(書面)
 場所: 決議の省略の方法による開催(書面)
 内容: 補充評議員3名、補充理事2名、補充監事1名の選任について

第2回 日時: 令和3年6月29日(火)
 場所: インキュベーションセンター
 内容: 令和2年度 事業報告及び決算
 令和3年度 事業計画及び当初予算
 補充理事1名の選任

第3回 日時: 令和3年7月29日(木)
 場所: 決議の省略の方法による開催(書面)
 内容: 評議員1名、監事1名の選任

(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構

令和4年度の主な事業・イベント

5月 ● 監査会
 ● INC入居者審査委員会

6月 ● 理事会(決算)(6/13)
 ● 評議員会(決算)(6/28)
 ● サステナブル地域づくりフォーラム(6月～11月)

7月 ● 技術等審査委員会
 ● アライアンス役員会・総会

8月 ● マイスターズ・カレッジ(8月～11月)

10月 ● アライアンス・企業製品・研究成果等発表会
 ● RIEFふくしま
 ● 健康医療福祉創生フォーラム(10月又は11月)
 ● メディカルクリエーションふくしま(10/27～28)

11月 ● 産学官連携フォーラム
 ● ロボットフェスタ(11/25～26)
 ● ロボットテクノロジーフォーラム

1月 ● 技術等審査委員会

2月 ● INC入居者審査委員会

3月 ● 理事会(予算)

(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構

イベントへの出展

県内外から多くの来場者が見込まれるイベントに出展し、当機構が取り組む事業紹介や、ものづくりインキュベーションセンターに入居する企業の成果発表の場として活用。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止、オンラインやWeb開催となりました。

REIFふくしま2021

開催中止

令和4年
 2月2日(水)～3日(木)

こおりやま産業博ONLINE -KORIYAMA expo2021-

オンライン展示会

令和3年10月8日(金)
 ～令和4年3月31日(木)

メディカルクリエーション ふくしま2021

Web メインイベント

令和3年
 10月28日(木)～29日(金)

役員・職員等の紹介

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 役員

任期: 令和2年6月30日～令和4年6月 定時評議員会

理事長	滝田 康雄	郡山商工会議所 会頭
常務理事	福内 浩明	郡山商工会議所 専務理事
理事	森尾 和衛	日本全業工業(株) 専務取締役
理事	澁谷 重二	郡山地区商工会広域協議会 会長 富久山町商工会 会長
理事	岩谷 幸雄	郡山地域テクノポリス推進協議会 副会長 玉川村商工会 会長
理事	根本 修克	日本大学 工学部長
理事	長橋 良隆	福島大学 共生システム理工学部長
理事	菊地 勝弘	鏡石町 産業課長
理事	佐藤 康博	石川町 企画商工課長
理事	塩田 敦	玉川村 産業振興課長
監事	片桐 久	(株)大東銀行 執行役員本店営業部長兼深沢支店長
監事	嶋原 健二	三春町 産業課長

令和4年3月31日現在(順不同・敬称略)

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 評議員

任期: 平成30年6月28日～令和4年6月 定時評議員会

評議員	伊藤 清郷	郡山商工会議所 副会頭
評議員	山田 慶太	郡山商工会議所 工業部会長
評議員	神田 雅彦	須賀川商工会議所 工業部会副会長
評議員	岩城 一郎	日本大学工学部 工学研究所長
評議員	七海 重貴	(株)東邦銀行 常務取締役郡山営業部長
評議員	菅野 淳	東北電力ネットワーク(株) 郡山電力センター所長
評議員	松崎 浩司	(公財)福島県産業振興センター 理事長
評議員	藤城 良教	福島県商工労働部 再生可能エネルギー産業推進監兼次長
評議員	佐久間貴士	須賀川市 経済環境部長
評議員	石澤 哲夫	郡山市 産業観光部次長兼産業政策課長

令和4年3月31日現在(順不同・敬称略)

郡山地域ニューメディア・コミュニティ 事業推進協議会委員

会長	滝田 康雄	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長
副会長	根本 修克	日本大学 工学部長
副会長	小暮 憲一	郡山商工会議所 情報文化部会長
委員	渡邊 達雄	須賀川商工会議所 会頭
委員	澁谷 重二	郡山地区商工会 広域協議会会長
委員	武居 厚志	郡山商工会議所 工業委員長 (新任)
委員	竹谷 金浩	(株)NTT東日本 福島支店 郡山営業支店長
委員	瓜生 利典	(株)エフコム 代表取締役副会長
委員	水上 哲夫	(有)ぱすわーど 代表取締役
委員	渡辺 春吉	福島県 企画調整部 デジタル変革課長
委員	小松 利顕	福島県 商工労働部 産業振興課長 (新任)
委員	栗花 信介	福島県 ハイテクプラザ副所長
委員	佐藤 直浩	郡山市 政策開発部長 (新任)
委員	佐久間貴士	須賀川市 経済環境部長
委員	橋本 喜宏	鏡石町 総務課長
委員	福内 浩明	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 常務理事
監事	石澤 哲夫	郡山市 産業観光部長 (新任)
監事	山田 剛	郡山商工会議所 開発事業部長 (新任)

令和4年4月1日現在(順不同・敬称略)

郡山地域ニューメディア・コミュニティ 事業推進協議会ボードメンバー

竹谷 金浩	NTT東日本 福島支店 郡山営業支店長
水上 哲夫	(有)ぱすわーど 代表取締役
大槻 努	大槻電気通信(株) 代表取締役
小松 信一	(株)福島情報処理センター 郡山システム部 部長
二瓶 幸恵	エフコム 常務取締役
新藤 純也	(株)コンピューターシステムハウス マネージャー
阿部 一則	国際情報工科自動車大学校 教務部長
吉田 正隆	プリマックス(株) 特販営業担当
佐藤 賢二	エリア・マークス(株) 代表取締役
鈴木 朱美	福島リビング新聞社 メディアデザイン本部 本部長(統括編集長)
菅家 元志	(株)プレインベーション 代表取締役社長
大塚 英明	(株)東邦銀行郡山営業部 上席副部長
二瓶 浩之	郡山市 政策開発部DX戦略課長
塩田 喜一	須賀川市 経済環境部商工課長
橋本 喜宏	鏡石町 総務課長

令和4年4月1日現在(順不同・敬称略)

ACCESS

- 福島空港から郡山駅まで(バスで約35分)
- 郡山駅から南へ3km(車で約10分、バスで約20分)
- 東北自動車道・郡山南インターから東へ約6km(車で約10分)



お問い合わせ／ご相談はお気軽にご連絡ください

編集／発行

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地 ビッグパレットふくしま3階

TEL : 024-947-4400

FAX : 024-947-4475

E-mail : techno@nm.net6.or.jp

ウェブサイト



メールマガジン



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。

